

第19回教育研究審議会

議事概要

日 時 令和3年1月27日(水) 午後4時00分～午後6時02分

場 所 本部棟 3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、ハウエル・エヴァンス英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、中村さき子学生課長

欠席者 新井仁入学センター長

藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 教員の移籍に係る手順について

○担当者から資料1に基づき説明。→提案通り承認。

昨年度、前学長から素案が示されたがいくつか課題があったため修正案を作成した。

→提案のあった2名について現在は②の段階との理解で良いか。

→②にある妥当性の検討中である。なお、③の手続き中にある投票などについては最後にあるとおり教育研究審議会の承認により簡略化も可能である。

(2) 特任教員の人事提案について(教職支援センター)

○担当から資料2に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

新規採用者 特任教授Cタイプ・R3.4.1から1年間

◇現職：特任教授Bタイプ

(3) 令和2年度「教員選考委員会」の構成について

○担当者1から資料3-1及び資料3-2に基づき説明。

担当者2から資料3-3に基づき説明。

○前回構成した教員選考委員会のうち各1名が保留となっていた国際教育学科の昇任2件の委員と今回提案のあった昇任の教員選考委員会を組織する。

◇国際教育学科(昇任①)

上記選考委員決定

◇国際教育学科(昇任②)

上記選考委員決定

◇教職支援センター(昇任)

上記選考委員決定

→センター運営委員からの2名については委員になる者から承諾が得られ次第回覧として連絡させていただく。

→前回構成された英文学科の特任A採用の教員選考委員会について、委員である該当教

員が推薦者となったため他の学科教員に変更となる。

→英文学科の選考委員変更及び教職支援センターの保留 2 名の委員について回覧による連絡も含め承認されたものとする。

(4) 特任教員の任期更新について (英文学科)

○担当者から資料 4 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇ Cタイプ・R3.4.1 から 1 年間

(5) 特任教員の任期更新について (国際教育学科)

○担当者から資料 5-1 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇Bタイプ・R3.4.1 から 1 年間

○担当者から資料 5-2 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇Cタイプ・R3.4.1 から 1 年間

(6) 特任教員の任期更新について (地域社会学科)

○担当者から資料 6 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇Cタイプ・R3.4.1 から 1 年間

(7) 特任教員の任期更新について (教職支援センター)

○担当者から資料 7-1 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇Bタイプ・R3.4.1 から 2 年間

○担当者から資料 7-2 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

→説明にもあったが課程認定上で必要な方であるが残任期間が 1 年となるため計画的に後任人事も進めていただく必要がある。

◇Bタイプ・R3.4.1 から 1 年間

(8) 特任教員の任期更新について (語学教育センター)

○担当者から資料 8 に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇Cタイプ・R3.4.1 から 1 年間

(9) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について (英文学科)

○担当者から資料 9-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。
→提案通り承認。

◇言語文化第二演習 II・Pragmatics I/語用論 I・Pragmatics II/語用論 II

◆担当者の退職に伴う措置。

◇Intepretation I/通訳技法 I

◆現担当者が出講不可能となったため。

◇英語音声学 I B (English Phonetics I B)・英語音声学 I C (English Phonetics I C)

英語音声学 I D (English Phonetics I D)・英語音声学 II B (English Phonetics II B)

英語音声学 II C (English Phonetics II C)・英語音声学 II D (English Phonetics II D)

◆現担当者が出講不可能となったため。

○担当者から資料 9-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。

→提案通り承認。3 件

◇国際語用論学・日本語用論学・社会言語科学

新規採用者 ランク A

◇日本会議通訳者協会

新規採用者 ランク A

◇日本音声学・日本音響学・日本語教育学
新規採用者 ランク A

(10) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（比較文化学科）

○担当者から資料 10-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。
→提案通り承認。

◇Communicative English IA・Communicative English IC・Communicative English ID
Communicative English II A・Communicative English II C・Communicative English II D

◆担当者の退職に伴う措置。

◇現代の課題 I ・協働社会論・地方自治体と在外外国人・多文化社会の言語-教育

◆担当者の退職に伴う措置。

◇地域環境-開発論・比較文化専門購読 II C

◆次期学科長の減コマ調整措置。

○担当者から資料 10-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。
→提案通り承認。

◇TOKYO JALT member

新規採用者 ランク S2

○担当者から資料 10-3 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。
→提案通り承認。

◇日本社会学・関東社会学・朝鮮族研究学

新規採用者 ランク A

○担当者から資料 10-4 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。
→提案通り承認。

◇国際開発学・日本社会学・アメリカ学・アフリカ教育学 他

新規採用者 ランク C

(11) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科）

○担当者から資料 11-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。
→提案通り承認。

◇情報リテラシー II（統計）・確率統計基礎・統計学・統計学特論 II

◆担当教員退職のため。

○担当者から資料 11-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。
→提案通り承認。

◇日本数学

新規採用者 ランク A

(12) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（地域社会学科）

○担当者から資料 12-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。
→提案通り承認。

◇財政学 I ・財政学 II

◆自己都合による科目担当辞退に伴う後任。

○担当者から資料 12-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。
→提案通り承認。

◇日本地方経済学・日本財政学

新規採用者 ランク C

(13) 2021 年度の特例措置としての遠隔授業実施について（国際教育学科）

○担当者から資料 13 に基づき説明。→提案通り承認。

→担当教員への報酬等はどのようになるのか。

→通常の非常勤講師と同様の取り扱いとなる。なお、来年度は試験的な実施のため特例措置扱いであるが、実施状況等によっては継続的な実施につなげる可能性もあることを承知いただきたい。

→執行部としても様々な海外の大学との遠隔授業については肯定的な考えであるため検討のうえ取り入れていきたいと考える。

(14) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（国際教育学科）

○担当者から資料 14 に基づき説明。→提案通り承認。

◇アクティブラーニングⅡ（コミュニケーション）・インストラクショナルデザイン

◆開講科目のため

(15) 令和 3 年度 非常勤講師の授業担当科目について（継続 第 10 回）

○担当者から資料 15 に基づき説明。→提案通り承認。

(16) 令和 3 年度 非常勤講師の授業担当科目について（取消 第 3 回）

○担当者から資料 16 に基づき説明。→提案通り承認。

(17) 大学評価結果（委員会案）に対する意見について

○担当者から資料 17 に基づき説明。→提案通り承認。

(18) 公立大学法人都留文科大学 第 3 期中期目標について

○担当者から資料 18 に基づき説明。→提案通り承認。

→会議終了後に審議会委員が確認できるよう資料を送付していただく。

→該当する方が記載したとのことであるが、どの項目に誰が記入したものか分かる資料もいただきたい。

→6 項の学術情報リテラシー部分について「デジタルシチズンシップ」という言葉が注目され始めているため検討いただきたい。

→教育会では「デジタルシチズンシップ」は重要となるため用語として取り入れるものとする。

(19) その他

○担当者から特任教員の所属部署について、現行キャリア支援センター所属になっており、例年、公開講座を実施していただいている該当教員について実施事業部署である地域交流研究センターでの更新が望ましいと考える。なお、本日提案された議事（1）とは別の取り扱いとしていただきたい。

→実質的な内容から提案が適切であると考えている。

→以前からセンター運営員会でも地域交流研究センター所属であるほうがふさわしいという意見もあった。次回の地域交流研究センター運営会議で審議のうえ更新の提案をさせていただく。

3 報 告

(1) 新型コロナウイルス感染症等対策本部会議報告について

○担当者から感染者や検査受検状況などの報告。

(2) 指導書の保管・活用について

○担当者から資料 19 について報告。

(3) その他

○担当者から3月に受け入れ予定で承認いただいていた2名の留学予定者について先方から感染症の状況から今回は辞退する旨の連絡があった報告。

4 閉 会

以 上